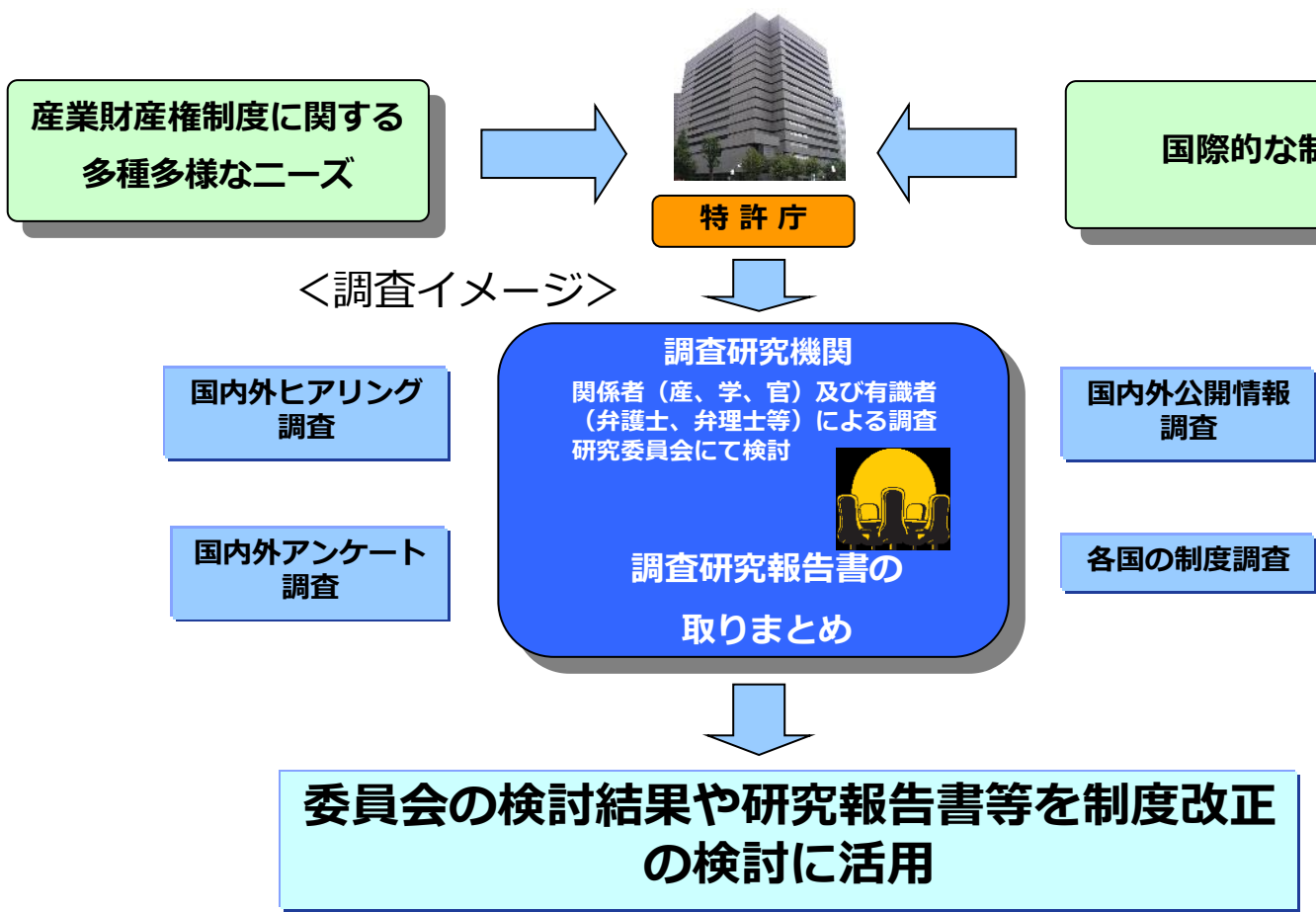


知財情報等分析・活用を通じて 実施するIPランドスケープの具 体的手法について



- 産業財産権制度に関しての企画立案に資するように、法制面や運用面について改正を行う際の基礎資料となる報告書を取りまとめることが目的。
- 調査研究テーマ毎に専門家を交えた研究委員会の開催・国内外公開情報調査・国内外ヒアリング調査・国内外アンケート調査等、調査研究テーマに応じた調査・分析を行う。



＜詳細について＞

本調査の詳細については、特許庁HP（以下URL記載）に掲載しております。令和5年度研究テーマ一覧「[知財情報等分析・活用を通じて実施するIPランドスケープの具体的手法に関する調査研究報告書](https://www.jpo.go.jp/resources/report/sonota/zaisanken-seidomondai.html)」をご参照ください。
URL:<https://www.jpo.go.jp/resources/report/sonota/zaisanken-seidomondai.html>

＜お問い合わせ先＞

経済産業省 特許庁 総務部 企画調査課
〒100-8915 東京都千代田区霞が関3-4-3
TEL：03-3581-1101（内2152）

調査の俯瞰図

背景

2017年頃にIPランドスケープが注目を集めて以来、書籍や論文、各種報告書等によりIPランドスケープについての情報はある程度発信されつつある。またIPランドスケープ推進協議会において会員企業の情報交換が行われている。

一方、IPランドスケープの具体的な手法や調査のプロセスは広まっていない。

目的

IPランドスケープが活用される場面、調査分析の一連のプロセス、必要なツール、知財部門と経営層・他部門との連携のあり方、IPランドスケープを活用した投資家等への知財戦略の開示・説明等を網羅的に明らかにし、企業等に対してガイドを提供することを通じて、企業等における効果的なIPランドスケープの実施を促進することを目的とする。

■ 公開情報調査

■ ヒアリング調査

対象：12者

■ 委員会

委員長：杉光一成（金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授）

委員：4名

■ IPランドスケープ活用の目的別手順の概要と情報源に関する調査

■ IPランドスケープの仮想実施事例の作成

■ ガイドブック兼事例集の作成

まとめ

公開情報調査、ヒアリング調査にてIPランドスケープの活用場面、調査分析のプロセス、知財部門と経営層との連携のあり方等を把握することができた。また、上記、公開情報調査、ヒアリング調査の結果を踏まえ、目的別手段・調査手法の整理、仮想実施事例を作成し、IPランドスケープを実践するために活用可能なガイドブックを作成した。

1. 本調査研究の背景・目的
2. 本調査研究の実施方法
3. 調査結果
4. ガイドブック兼事例集の作成
5. まとめ

背景

- 気候変動等の環境問題やジェンダー等のダイバーシティの推進、デジタル化やグローバル化のますますの進展等、企業経営を取り巻く環境が大きく変化する中、多くの企業では、現状のビジネスからの変革が求められており、IPランドスケープは、経営判断に資する有益な取組の一つになり得る。
- 加えて、2021年6月のコーポレートガバナンス・コードの改訂により、上場企業は、知財投資等についての具体的な情報の開示や取締役会における実効的な監督の実施が求められており、IPランドスケープは、その対応にも資するものである。
- 書籍や論文、各種報告等によりIPランドスケープについての情報はある程度発信されつつある。また、2021年に複数の企業が中心となってIPランドスケープ推進協議会が設立され、2024年2月時点で60社程度の会員企業が参加して情報交換が行われている。しかしながら、IPランドスケープには企業の機密情報が多分に含まれているため、その具体的な手法や調査のプロセスは広まっているとは言い難い。

調査目的

- IPランドスケープが活用される場面、調査分析の一連のプロセス、必要なツール、知財部門と経営層・他部門との連携のあり方、IPランドスケープを活用した投資家等への知財戦略の開示・説明等を網羅的に明らかにし、企業等に対してガイドを提供することを通じて、企業等における効果的なIPランドスケープの実施を促進することを目的とする。

(1) 公開情報 調査

- 書籍、論文、調査研究報告書、審議会報告書、事例集、データベース情報及びインターネット情報等を利用して、国内外企業等（大企業、中小企業、スタートアップ、大学含む）に関する文献・情報（IR情報、統合報告書、知財情報含む）等を調査、整理及び分析し、ヒアリング調査、IPランドスケープ活用の目的別手順の概要と情報源に関する調査、IPランドスケープの仮想実施事例の作成、委員会資料作成、調査研究報告書作成のための基礎情報として、各国・地域におけるIPランドスケープの活用状況をまとめる。

(2) ヒアリング 調査

- 公開情報よりIPランドスケープへの取り組みを実施していることが確認できた企業等、IPランドスケープに知見を有している企業等の中から委員会にて候補を選出し、国内企業等（大企業、スタートアップ企業）7者、大学等2者、コンサルタント1者、海外企業2者の計12者に対してヒアリング調査を実施する。

(3) IPランドスケープ活用の目的別手順の概要と情報源に関する調査

- 「公開情報調査」及び「ヒアリング調査」の結果や「委員会による検討」における委員からの意見等に基づき、IPランドスケープを経営や事業において具体的に活用する目的別手順を整理する。また、IPランドスケープを実施するにあたり 利用が想定される知財情報や市場情報等のデータベースや分析ツール等を別途網羅的に一覧として示し、知財情報や市場情報等の情報収集、分析等といったテクニカルなフェーズで活用しやすい情報として整理する。

(4) IPランドスケープの仮想実施事例の作成

- 事例対象企業を3社設定し、各事例対象企業の、過去のある時点におけるデータを用いて仮想的にIPランドスケープを試行し、そのプロセスを事例として取りまとめる。経営層への提案を想定してIPランドスケープを試行し、試行における一連のプロセスをステップごとに分解して記録することにより、IPランドスケープの詳細で具体的な仮想実施事例を作成する。

(5) 委員会に よる検討

- 知財情報等分析・活用およびIPランドスケープの具体的手法に知見のある有識者5名で構成される有識者委員会を設置し、4回にわたって議論を行う。

委員長

杉光 一成 金沢工業大学大学院（KIT虎ノ門大学院）
イノベーション・マネジメント研究科 教授

委員

井上 博之 ナブテスコ株式会社 技術本部 知的財産部長

中村 栄 旭化成株式会社 知財インテリジェンス室
シニアフェロー

野崎 篤志 株式会社イーパテント 代表取締役社長

山内 明 株式会社知財ランドスケープ 代表取締役社長 CEO

※委員は五十音順

(1) 公開情報 調査

- ヒアリング調査、IPランドスケープ活用の目的別手順の概要と情報源に関する調査、IPランドスケープの仮想実施事例の作成、委員会資料作成、調査研究報告書作成のための基礎情報として、各国におけるIPランドスケープの活用状況をまとめ、近年の変化、日本と海外との相違点について整理した。

(2) ヒアリング 調査

- 「公開情報調査」の結果をさらに深掘りすること、並びに「IPランドスケープ活用の目的別手順の概要と情報源に関する調査」及び「IPランドスケープの仮想実施事例の作成」において、より詳細な情報を踏まえて調査することを目的として行った。特に、IPランドスケープの具体的な事例（成功例や失敗例、分析情報、分析過程等を聴取）、経営層や他部門との連携に関する事項を重視してヒアリングを行い、結果を整理した。

(3) IPランドスケープ活用 の目的別手 順の概要と 情報源に関 する調査

- 「公開情報調査」及び「ヒアリング調査」の結果や「委員会による検討」における委員からの意見等に基づき、IPランドスケープ活用の目的を抽出し、その目的に活用される目的別分析手法および具体的な手順を整理した。
- また、「公開情報調査」及び「ヒアリング調査」の結果に基づき、IPランドスケープを実施するにあたり、利用が想定される知財情報や市場情報等のデータベースや分析ツールを抽出し、知財情報を対象とするか、事業・マーケット・論文等を対象とするか、情報取得ができるか、分析ができるかの観点で整理した。

(4) IPランドス ケープの 仮想実施 事例の作成

- 事例対象企業を3社設定し、各事例対象企業の、過去のある時点におけるデータを用いて仮想的にIPランドスケープを試行した。経営層への提案を想定してIPランドスケープを試行し、試行における一連のプロセスをステップごとに分解して記録することにより、IPランドスケープの詳細で具体的な仮想実施事例を作成した。

(5) 委員会による検討

知財情報等分析・活用およびIPランドスケープの具体的手法に知見のある有識者5名で構成される有識者委員会を設置し、以下の4回にわたって議論を行った。

- 第1回委員会
 - ✓ ヒアリング調査における、候補者の推薦及び選定方法に関する議論
 - ✓ ヒアリング調査におけるヒアリング項目について、候補者の属性に応じた方向性の議論
 - ✓ IPランドスケープの仮想実施事例について、分析内容及び分析対象候補の選定に関する議論
- 第2回委員会
 - ✓ IPランドスケープの仮想実施事例について、ストーリーの妥当性及び検証手法に関する議論
- 第3回委員会
 - ✓ IPランドスケープの仮想実施事例について、ストーリーの検証結果検討
 - ✓ IPランドスケープについて、活用目的、目的別手法、分析手順の検討及び整理方針に関する議論
- 第4回委員会
 - ✓ IPランドスケープの仮想実施事例におけるストーリーの確認及び議論
 - ✓ ガイドブックの取りまとめの確認及び議論
 - ✓ 報告書の取りまとめの検討及び議論

- 企業等における効果的なIPランドスケープの実施を促進することを目的として、「IPランドスケープの活用目的」、「活用目的ごとのIPランドスケープの手順」、「IPランドスケープの仮想実施事例」、「IPランドスケープに活用可能な無償のデータベース及びツール」を内容としたガイドブック兼事例集を作成した。
- ガイドブック兼事例集により、IPランドスケープが活用される場面、調査分析の一連のプロセス、必要なツール、知財部門と経営層・他部門との連携のあり方、IPランドスケープを活用した投資家等への知財戦略の開示・説明等を網羅的に明らかにした。

2017年頃にIPランドスケープが注目を集めて以来、書籍や論文、各種報告書等によりIPランドスケープについての情報はある程度発信されつつあり、またIPランドスケープ推進協議会において会員企業間で情報交換が行われている一方で、IPランドスケープの具体的な手法や調査のプロセスは広まっているとは言い難い。そこで、IPランドスケープが活用される場面、調査分析の一連のプロセス、活用可能なツール、知財部門と経営層・他部門との連携の在り方を網羅的に明らかにし、企業等に対する指針を提供することを通じて、企業等における効果的なIPランドスケープの実施を促進することを目的として、本調査研究を実施した。

本調査研究では、公開情報調査、ヒアリング調査にてIPランドスケープの活用場面、調査分析のプロセス、知財部門と経営層との連携の在り方等を把握することができ、また、公開情報調査、ヒアリング調査の結果を踏まえ、目的別手段・調査手法の整理、仮想実施事例を作成し、IPランドスケープを実践するために活用可能なガイドブックを作成することができた。

別途公開される「経営戦略に資するIPランドスケープ実践ガイドブック」も含め、本調査研究が、知財部門のトップ・知財企画部門・戦略立案部門・事業企画部門など、「経営」及び「知財戦略」に携わる全ての人材に活用されれば幸いである。

禁 無 断 転 載

令和5年度 特許庁産業財産権制度問題調査研究
知財情報等分析・活用を通じて実施するIPランドスケープの具体的
手法について
(要約版)
令和6年2月

請負先
デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社
〒100-8363 東京都千代田区丸の内3-2-3
丸の内二重橋ビルディング